

縁故・地域関係者

蛭田 覚

蛭田 栄次

蛭田 正

蛭田 一

芳賀 弘

蛭田 晃

津田 彰夫

緑川 清幸

鈴木 英亮

前田 守保

関根 武捷

高坂 幸男

斎藤 實

添田 剛弘

長 添田 剛弘

長 添田 剛弘

長 添田 剛弘

長 添田 剛弘

長 添田 剛弘

長 添田 剛弘

長 添田 剛弘

長 添田 剛弘

福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5、電話

〇二四七-四九-三一、FAX〇二四七-四九-二六

五一、〒九六三-八四

(蒲原 宏)

日本医史学会関西支部一九九六(平成八)年春季大会

共催 京都医学史研究会

とき 一九九六年五月十九日(日)午前九時半

ところ 京大会館

開会のことば

長門谷洋治

一、グレイ解剖書第三八版一九九五 栗本 宗治(西宮市)

二、京都癩狂院長高松彝よりフィラデルフィア癩狂院長への

答弁書―長遠寺資料補遺― 藤田 俊夫(京都市)

三、トバ・バタク地方におけるライン伝道会の医療活動 安田 純一(西宮市)

四、エルサレムの聖ヨハネ騎士団病院 泉 彪之助(金沢市)

五、坪井信友の億川信哉宛の書簡 泉 彪之助(金沢市)

六、『餞甥雜記』―長崎浩齋から佐渡三良へ― 〇中山 沃・亥野 彊(西宮市)

七、医家先哲墨跡供覧―佐藤尚中・長谷川泰・吉岡彌生― 正橋 剛二(富山市)

七、医家先哲墨跡供覧―佐藤尚中・長谷川泰・吉岡彌生― 杉立 義一(京都市)

七、医家先哲墨跡供覧―佐藤尚中・長谷川泰・吉岡彌生― 杉立 義一(京都市)

七、医家先哲墨跡供覧―佐藤尚中・長谷川泰・吉岡彌生― 杉立 義一(京都市)

七、医家先哲墨跡供覧―佐藤尚中・長谷川泰・吉岡彌生― 杉立 義一(京都市)

八、三宅良一とその交友録から 江川 義雄(廿日市市)
九、絵葉書にみる奥村良筑先生 〇寺畑 喜朔(高岡市)

奥村 忠(武生市)・長門谷洋治(堺 市)

一〇、医官法眼山脇玄致門人帖 有坂 隆道(関西大学)

一一、阿知和五郎著『近代日本の医学』に紹介された山脇東洋像について 〇長門谷洋治(堺市)・坂上俊之(城陽市)

一二、斎藤茂吉(呉秀三先生を憶ふ) 昭和七年にみる

「狂」の文字へのおもひについて 小曾戸明子(東京都)

一三、オランダ・ライデンの外科医ギルド(一五世紀〜一八世紀)とギルド規約(一六八一年)について 石田 純郎(新見女子短大)

一四、アンブロアス・パレと江戸の外科

和田和代史(和田医学資料館)

特別講演へジェンナー種痘二〇〇年記念)

ジェンナーの業績と伝記について

大阪大学名誉教授 加藤 四郎

閉会のことば …………… 中橋 弥光

(長門谷洋治)

例会記録

一月例会 平成八年一月二十日(土)

順天堂大学医学部六号館階段教室

一 個人史研究におけるプライバシー問題 ―討論して

― いただくための試論― 岡田 靖雄

一 王行―中国古代医学の枠組み概念 其の二―

家本 誠一

二月例会 平成八年二月二十四日(土)

順天堂大学医学部九号館八番教室

一 室町〜江戸初期における灸技術について ―文献上

にみる経穴の用い方― 角谷 貞雄

一 三才―中国古代医学の枠組み概念 其の三―

家本 誠一

日本医史学会 三月合同例会 平成八年三月二十三日(土)

医科器械の歴史研究会

一 耳鼻咽喉科診療器械の発展過程について 飯田 収

一 ビデオ供覧 「遙かなるアルスターマン ―ウィリ

アム・ウィリスのこと」 解説 酒井 シツ

四月例会 平成八年四月二十七日(土) 順天堂大学医学部九号館八番教室

一 オランダ商館長の住友銅吹所見物と饗応・贈答

片桐 一男